

栃木放送平成27年度第7回11月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成27年11月5日(木)午前11時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数9名

出席委員6名

欠席委員3名

出席委員名	委員長	増田 仲夫
	委員	太田 照男
	委員	竹内 明子
	委員	岩村由紀乃
	委員	高橋 幸裕
	委員	関根 房三

局側出席者氏名	代表取締役社長	竹澤 一夫
	報道制作局長	高瀬 一也
	報道制作副部長	斉藤 巖

4 議 題

(1)「オトナリズム」「インサイトTODAY」について

(2) その他

5 議事内容

(1)「災害報道」について

試聴番組：秋の新番組「オトナリズム」と「インサイトTODAY」の一部を予め試聴

議題説明：報道制作局 高瀬が「オトナリズム」、斉藤が「インサイトTODAY」の番組概要について説明。
次に審議に入る。

各委員からは、

- オトナリズムはターゲットを絞ったのがいい。懐かしい曲が聞けてよかった。インサイトは硬い番組のような感じ。
今回は「図書館のあり方」について考えさせられた。非常によかった。
- オトナリズムは対象年齢が高いのか、ゆったり、のんびりした感じが出ていてよかった。インサイトは話題もタイムリーで、ためになると思った。
- オトナリズムは、オトナというのが 60 歳以上なのかと感じさせ、違和感を覚えた。パーソナリティは、別の番組とは全く違った味が出ていてよかった。インサイトは、タイトルから本格的な報道番組かと思ったが、バラエティの色も出ていた。コメンテーターの話は一方的になるので、具体的なデータなどを使って公平な立場で話をしたほうがいい。
- オトナリズムはターゲットを絞ったのはいい。全体を聴いてみないとわからない。インサイトは栃木県ではどうなのか具体的な例があるともっといい。
- オトナリズムはシニアに特化したのがいい。ゆっくりと聴いてもらうにはいいと思う。インサイトは「気づき」を与えてくれると思う。コメンテーターはどうしても一方的になりがちなので、リスナーから意見をもらうなどの工夫がほしい。栃木らしさをどう出していくのかも重要だ。
- 思想的に全く中立という人はいない。コメンテーターの話は問題提起になると思う。コメンテーターが全部正しいということはないと思いながら聴いたが、考えさせられた。
- インサイトのコメンテーターの話は問題提起という意味で、ディベートやメディアリテラシーに使えるのではないかなどの意見が出された。
当社としてはこれらの意見を参考に今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を説明した。

(2) その他

平成 27 年度第 8 回 12 月期の審議会を 12 月 3 日（木）に開催することを決めて閉会した。

以上